



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 成果発表 (医療部)



NO	種類	発表部署名	ページ
1		病院長	1
2	診療科	呼吸器内科	3
3	診療科	消化器内科/消化器内視鏡室	5
4	診療科	肝臓内科/肝臓疾患センター	7
5	診療科	循環器内科	9
6	診療科	脳神経内科/脳卒中センター	11
7	診療科	血液内科/血液疾患診療センター	13
8	診療科	糖尿病センター	15
9	診療科	糖尿病・内分泌内科	17
10	診療科	腎臓内科/腎センター	19
11	診療科	緩和医療科/緩和ケアセンター	21
12	診療科	小児科	23
13	診療科	外科・消化器外科・血管外科	25
14	診療科	呼吸器外科	27
15	診療科	乳腺外科	29

NO	種類	発表部署名	ページ
16	診療科	整形外科	31
17	診療科	形成外科	33
18	診療科	脳神経外科	35
19	診療科	産婦人科/周産期母子医療センター	37
20	診療科	眼科	39
21	診療科	耳鼻咽喉科	41
22	診療科	泌尿器科	43
23	診療科	皮膚科	45
24	診療科	放射線診断科/画像診断センター	47
25	診療科	放射線治療科/放射線治療センター	49
26	診療科	麻酔科/手術センター	51
27	診療科	病理診断科/病理診断センター	53
28	診療科	リハビリテーション科	55
29	診療科	救急科/救命救急センター	57
30	診療科	歯科口腔外科	59

2024年度成果

病院長



2024年度 診療数値目標の達成状況

外来患者数/日(人)

項目	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
磐田	1,222	1,132	1,121	1,150 (2024.4月:1,062)	1,111

新入院患者数/月(人)

項目	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
磐田	1,016.5	953.7	1,004.7	1,050 (2024.4月:1,072)	1,086.0

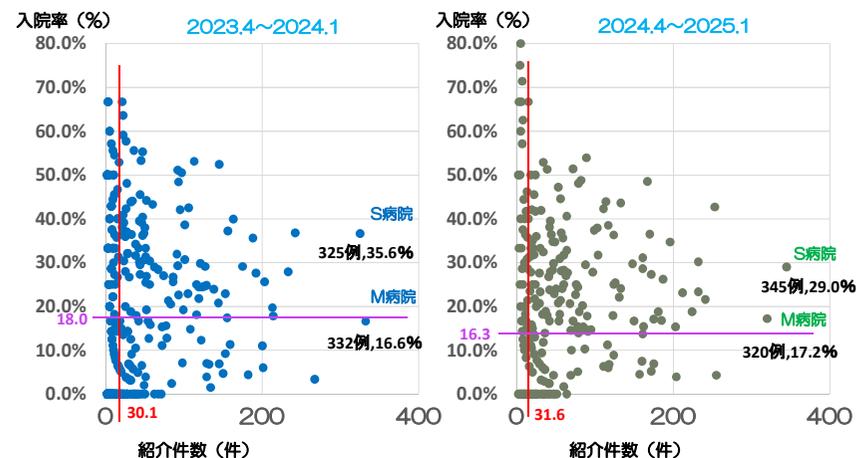


2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	診療報酬改定を踏まえた高齢者救急の体制整備 ・双方協議のうえ、下り搬送受入れ医療機関4つを確保	× 稼働率の向上優先
2. 生き活きと働ける職場環境	各職員がもつスキルの把握とそれを活用した組織力の向上 ・人材のトータルマネジメントシステムの活用	△ 計画継続
3. 地域ニーズへの対応	診療報酬改定で求められる医療と介護の連携強化 ・介護施設に義務化された協力医療機関との連携先として応じる体制を整える ・感染症発生時における介護施設との連携体制を整える	○ 体制構築
4. 経営基盤の更なる強化	効率的な集患活動による新規患者、新入院患者の確保 ・ベンチマークの平均を超える入院移行率を確保	× 20.9% (中央値 21.9%)



2024年度の目標達成に向けた取組み



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

S病院

紹介先診療科 ベスト4	2023.4~2024.1		2024.4~2025.1	
	紹介件数	うち入院症例	紹介件数	うち入院症例
整形外科	77	22	87	19
泌尿器科	55	10	56	13
消化器内科	37	32	38	24
乳腺外科	31	2	26	1

M病院

放射線	47	1	50	1
循環器内科	31	9	27	6
整形外科	30	2	9	3
消化器内科	28	7	35	9



来年度に向けた決意表明

公立病院経営強化プランを達成するうえでめざす数値目標

	2024年度		2025年度	
	取組目標値	実績	取組目標値	目標
入院診療				
入院患者数/日	400	378	400	plus 20
新規入院患者数/月	1,050	1,081.6	1,100	plus 20
在院日数	9.9	9.7	9.8	9.8
DPC II 期以内退院率	72%	72.5%	73%	73%
外来診療				
外来患者数/日	1,140	1,111	1,140	plus 30
救急診療				
年間搬送件数	5,700	5,740(6,261.8)	5,900	6,200
入院率	44%	44.3%	44%	44%
地域連携				
紹介件数/月 (入院移行率)	1,050 (22%)	1,080.1 (20.9%)	1,100 (22%)	plus 20 (plus 1%)



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	94.0	100	103.9
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	56.1	60.0	57.3

2024年度成果

呼吸器内科



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	肺癌の診断におけるクライオ生検の導入	○
2. 活き活きと働ける職場環境	スタッフ間の入院患者数を含めた業務の負担均等化をめざした新たな診療体制の導入、運用	○
3. 地域ニーズへの対応	呼吸器疾患の診断・治療に関する情報の一般市民への情報発信(呼吸器感染症の予防に関する情報提供等)	×
4. 経営基盤の更なる強化	・他の医療機関との連携強化(高齢者入院患者の在院日数の短縮化)	×
	・胸部異常陰影を指摘された患者さんの新たな受け入れシステムの構築	○

2024年度の目標達成に向けた取組み

- ・既にびまん性肺疾患に対して実施しているクライオ生検を、腫瘍性疾患にも導入した。
- ・入院担当患者の割り振りを、入院担当患者数や重症度、予定入院患者数、業務内容および個々の負担を考慮し、日毎に担当の順番を決め、業務負担のかたよりを均等化させた。

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



来年度に向けた決意表明

- 中東遠地域は呼吸器内科医の人数が少ない地域ですが、中核病院として、質の高い呼吸器疾患の診療をめざします。
- 若手医師が呼吸器内科を志望するような、働きがいのある職場環境をめざします。



2024年度成果

消化器内科 消化器内視鏡室



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	169.7	150	181
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	69.1	68	69.6
下部消化管内視鏡検査	1992	1950	1593



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	がん患者に対する高度で低侵襲な治療の提供の維持	○
2. 生き活きと働ける職場環境	効率的な処置の施行	○
3. 地域ニーズへの対応	紹介患者受入れの維持	○

2024年度の目標達成に向けた取り組み

医師、スタッフともに不足している中で

・統括DrとリーダーNsと相談しながら効率的な検査の推進

→統括Drが一日の内視鏡スケジュールを作成しリーダーNsと協力することで円滑な内視鏡検査を行なうことが出来た。

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

- 医師、スタッフともに不足している中で
- ・臨床工学技士派遣の継続と役割増加
→内視鏡検査に積極的に参加していただいた
 - ・若手の内視鏡手技機会の増加
→若手医師も積極的に内視鏡治療に取り組み
技術習得をすることができた



来年度に向けた決意表明

- ✓ 医師の精神面、身体面に配慮した働き方を行ないつつ、本年同様の診療実績を継続する。
- ✓ 近年、診療が高度化(内視鏡治療、がんゲノム医療)しており、時代の変遷に合わせた診療を行なっていく。



2024年度 診療数値目標の達成状況

2024年度成果

肝臓内科 肝臓疾患センター

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
県認定コーディネーター	11	15	23
肝疾患治療費助成案内件数	29	35	15
肝疾患相談件数	36	40	27



2024年度 重点目標の達成状況

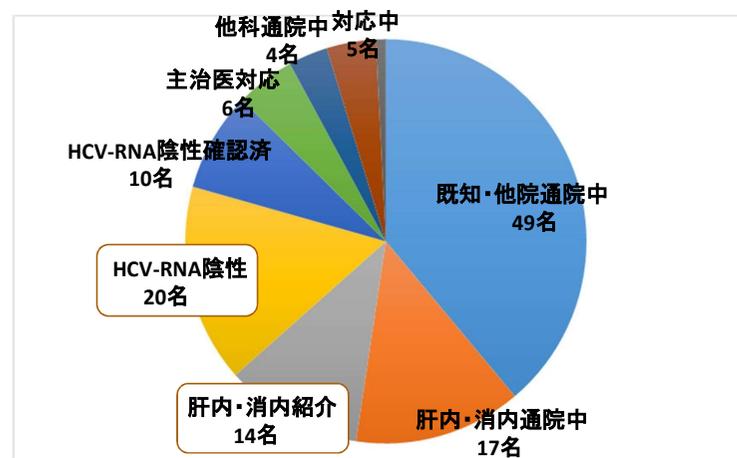
項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者の拾い上げの徹底	○
2. 生き活きと働ける職場環境	それぞれの職種の専門性を発揮出来るように役割分担を明確にする。	△
3. 地域ニーズへの対応	肝疾患に対する制度の周知(患者様及び医療スタッフ)	△

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者の対応

HBs抗原陽性42名 HCV抗体陽性85名 計126名



「肝臓週間」に合わせたキャンペーン

7月28日は世界肝炎デーで、7月28日を含む1週間は「肝臓週間」でした。
これに合わせて、院内でキャンペーンを行いました。

- ・正面玄関のブースでの肝炎関連のポスターの掲示
- ・肝炎予防啓発のチラシ、保冷剤などの配布
- ・無料検査の案内
- ・肝臓専門医による無料相談
- ・SNSによる情報発信



来年度に向けた決意表明

肝疾患の検査の「**受検**」、
肝疾患患者の早期「**受診**」、
肝疾患患者の継続的な「**受療**」を促進し、
「**フォローアップ**」が円滑に行われる
ようにこころがけます。



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	87.3	90.0	89.6人
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	74.3	75.0	77.0%
ロータブレードPCI件数	3	6	5件/10か月 (7件の見込み)
アブレーション	74	80	54件/10か月 (65件の見込み)

2024年度成果

循環器内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	・カテーテル治療における質の向上(ロータブレードPCI、アブレーション等の件数増加) ・CPX(呼気ガス心肺運動負荷試験)を用いた心臓リハビリ強化 ・医大等と連携した高度医療提供の環境の維持	○
2. 生き活きと働ける職場環境	緊急対応の質を維持しつつ、ライフワークバランスを保てる職場作り	○
3. 地域ニーズへの対応	高齢化の進行に伴い増加する心不全患者への診療の充実 病診連携診療の強化(心不全地域連携連絡会の継続)	○
4. 経営基盤の更なる強化	カテーテルインターベンション(特にロータブレード)やアブレーションなどの件数維持・増加	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

2024年度の目標達成に向けた取組み

1. 質の高い医療の実現

→ロータブレードPCIは目標件数は達成、呼気ガス心肺負荷検査も開始できている。

2. 生き活きと働ける職場環境

→働き方改革B水準の目標範囲内を維持しつつ、専門治療の質と量の維持を達成できた。

3. 地域ニーズへの対応

→心不全地域連携連絡会、心不全手帳、病棟看護師による退院後患者外来介入など職種や所属を越えた連携の継続。

→医師会と連携した勉強会の開催(多職種連携テーマ、当科医師のレクチャーなど)

4. 経営基盤の更なる強化

→カテーテルインターベンション(ロータブレードPCI含む)やアブレーションなどの件数は概ね横ばいを維持できた。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

2025年度も多職種で連携してより一層
チーム医療の強化をしていきます。

地域中核病院としての医療を提供しつつ、
更なる質の向上を目指します。



2024年度成果

脳神経内科 脳卒中センター



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
入院患者数	290人	300人	267人

tPA投与例 23
血栓回収施行例 20



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	正確な診断に基づいた治療	○
2. 生き活きと働ける職場環境	業務の簡素化	○
3. 地域ニーズへの対応	受診を断らない	○
4. 経営基盤の更なる強化	投薬、検査は必要最小限とする	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

持続可能な医療



脳卒中中心の診療から 神経内科固有疾患への シフト



2024年度 診療数値目標の達成状況

2024年度成果

血液内科 血液疾患診療センター

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
年間入院患者数 (実人数/延べ人数)	265/708	200/500	264/676
自家末梢血幹細胞移植件数	10	5	5



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	自家末梢血幹細胞移植を引き続き積極的におこない、年間5件以上を維持する。	○
2. 生き活きと働ける職場環境	血液疾患診療センターによる多職種連携して、タスクシェアシフトをすすめる。チーム血液内科で診療にあたり業務を分担し休暇を取りやすい環境を目指す。	○
3. 地域ニーズへの対応	血液疾患やAYA世代のがんについて、市民や学生に教育や公開講座をおこなえる機会を作る。	×
4. 経営基盤の更なる強化	入院化学療法において、DPCを意識したクリニカルパスをさらに推進する。	○

2024年度の目標達成に向けた取組み

- ・中東遠医療圏(磐田市、森町、袋井市、掛川市、菊川市、御前崎市)の治療適応の紹介患者については、当地域で治療が完結できるように積極的に紹介患者を受け入れている。
- ・自家移植、免疫細胞療法(二重特異性抗体療法)など、血液疾患の専門的治療も積極的に導入している。二重特異性抗体療法の副作用管理について、血液疾患診療センター内で周知しマニュアルを作成し迅速な対応が出来る体制を作った。

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取り組み

- ・在宅医療クリニック、家庭医療クリニックとの連携を積極的におこなっている。勉強会も実施出来た。
- ・多人数の患者様に最新の治療を安全に提供するために、クリニカルパスを積極的に導入した。患者様、ご家族、医療スタッフも入院治療の見通しがわかるようになった。
- ・地域の皆様への教育は依頼がなかったため、達成できなかった。



来年度に向けた決意表明

中東遠地域唯一の血液内科を標榜している日本血液学会認定の血液専門研修施設として、当地域の中心的役割を担います。当院血液内科の試みを発信していきます。

中東遠全域からの血液疾患を疑う患者の受け入れをより強化していきたいと思えます。



2024年度 診療数値目標の達成状況

2024年度成果

糖尿病センター

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
腎症重症化予防外来 慢性腎臓病透析予防管理料	4	20	6 25
DiaMAT(災害時糖尿病医療 支援チームへのスタッフ登 録)療養指導士の増員	—	10 (うち療養指 導士5)	—※
フットケア外来数	81	100	214



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	腎症重症化予防外来の拡充 初年度(R5年)の問題点の洗い出しと改善	○
2. 生き活きと働ける職場環境	●糖尿病教育入院時の 外来スタッフ⇔入院スタッフの情報連携のみなおしによる スタッフの時間・労力の削減 ●院内スタッフむけ糖尿病ミニレクチャーの開催	○
3. 地域ニーズへの対応	DiaMAT (災害時糖尿病医療支援チーム)への参加	△
4. 経営基盤の更なる強化	外来患者を対象にした慢性腎臓病透析予防指導管理料(2024年新療報酬改定)腎臓内科と協力して院内算定体制の準備する	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



糖尿病センター

2024年度の目標達成にむけた取組み 1

フットケア外来の拡充

看護部、看護スタッフの積極的な意見交換と創意工夫
指導充実のための努力と取り組みにより、飛躍的な成果をあげている。

フットケア外来患者数 2024年1月~拡充

		2023年 4月~3月	2024年 4月~1月
担当スタッフ		3人	8人
開設日数		3日/月	10日/月
枠数		18枠	60枠
件数	糖尿病患者	45	116
	透析患者	27	98



糖尿病センター

2024年度の目標達成にむけた取組み 2

院内スタッフむけ糖尿病ミニレクチャーの開催

看護師等医療スタッフむけの薬剤、糖尿病機器の説明会を主催
進歩していく糖尿病医療 新しい知識を病院内の各部門、病棟で共有した

周産期病棟



2024年度の開催

4月24日 4西病棟

インスリンと周術期の対応

5月13日 5東病棟

インスリン注射製剤について

6月5日 外来中央処置室

SGLT-2阻害薬の効能と注意点について

7月8日 7西病棟

血糖測定器 非観血的測定器について

8月27日 外来中央処置室

注射薬 GLP-1 作動薬について

9月9日 5東病棟

注射薬 GLP-1 作動薬について



外来中央処置室



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病センター

2024年度の目標達成にむけた取組み 3

腎臓内科 糖尿病・内分泌内科 専門看護師 専門栄養士による
透析予防診療チーム 透析予防外来システムのテコ入れをおこなった

院内患者、および紹介患者における、効果的で効率のよい、
透析予防指導システムの確立をめざした。

ならびに糖尿病透析予防指導管理料 慢性腎臓病透析予防
指導管理料の算定による病院経済への貢献を志した。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

日々進歩する糖尿病診療。
患者さんに最新の情報を提供し、
高いスキルを還元するために、たゆまぬ研鑽を。



より充実した医療の提供の
ための活発な意見交換
風通しのよい運営。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度成果

糖尿病・内分泌内科



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	複数科多職種による混合チームである糖尿病センターの主軸となる科として、腎症重症化予防、フットケア外来、患者指導をはじめとした院内の糖尿病事業を展開	○
2. 生き活きと働ける職場環境	当該分野での積極的な学会論文発表 糖尿病・内分泌代謝科専門医の育成	○
3. 地域ニーズへの対応	中東遠地域で唯一の内分泌専門医療機関・糖尿病教育入院稼働医療機関となっており、地域のクリニック、患者さんのニーズに応える 専門的な診療	○
4. 経営基盤の更なる強化	健診からの未介入当科関連慢性疾患患者のひろいあげと指導開始、治療継続（病診連携）までのシステムの構築 新規薬剤、新規血糖管理ツールの評価と導入 (薬剤科 検査科との協力による)	△

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	12.2	15.0	17.1
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	73.7	80.0	78.7

糖尿病センターとして

透析予防外来患者数	4	20	腎症重症化予防 6 透析予防外来 8
フットケア外来患者数	81	100	116



糖尿病・内分泌内科

2024年度の目標達成にむけた取組み 1

中東遠地域 唯一の教育入院稼働施設として

	1型糖尿病	2型糖尿病	インスリン導入
2021年度 4月~3月	18	100	99
2022年度 4月~3月	23	109	99
2023年度 4月~3月	25	79	92
2024年度 4月~2月	16	89	90

最近は、外来でインスリンを含む自己注射の導入が可能になっているが、1型2型を問わず、インスリン導入を必要とする患者さんの入院需要は変わらない。

糖尿病教育入院患者数

中東遠医療センターや地域の糖尿病専門クリニックとの連携

中東遠地域の専門科病院として中東遠医療センター糖尿病内分泌科との情報共有をしていく 地域の専門医クリニックとの情報交換



糖尿病・内分泌内科

2024年度の目標達成にむけた取組み 2

磐田市腎症重症化予防事業

2023年4月～ 54歳未満の糖尿病患者を対象に磐田市医師会で事業が開始

2024年度：対象年齢を70歳未満に引き上げにより多くの患者さんが対象に

磐田市在住 当院で病名に【糖尿病】がはいっている患者さん

			尿蛋白			尿中微量アルブミン	
			未検査	陰性	陽性	陰性	陽性
2023年4月～10月末	55歳未満	477	194	154	129	40	19
		334	134	94	116	9	3
2024年4月～2025年1月	55歳以上	2533	1275	480	778	22	19

■ 糖尿病患者さんの尿検査の施行率をあげていく必要がある。

■ 当院患者さんは糖尿病の進行した状態、合併症のある状態の比率が高く尿蛋白陽性率が高い。多くの患者さんが腎症重症化予防事業の適応であると考えられる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科

2024年度の目標達成にむけた取組み 3

血糖測定器変更のお知らせ

メーカー販売中止に伴い、現在お使いいただいている
フリースタイル リブレは、フリースタイル リブレ2 に変わります。



測定機交換およびセンサーの切り替えを順次行います
(現在お手持ちの「リブレセンサー」は新機種では使用できません)
使用中の患者さんにおかれましてはお手数をおかけしますが
ご協力の程 よろしく申し上げます

磐田市立総合病院



■ リブレ2へのスムーズな移行

■ 移行をきっかけに従来の、測定機種種の貸し出しから
自己スマホアプリと病院血糖読み取りシステムへの連動を特に若い年代の患者さまに推奨させていただいた。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明



稀少なホルモン疾患から
糖尿病や高血圧などの身近な疾患まで
スペシャリストが提供する医療の追求

内分泌疾患領域のさらなる診療充実をはかる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
維持透析患者数	102	106	105
透析導入患者数	53	58	47 (56/年)

2024年度成果

腎臓内科・腎センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	<ul style="list-style-type: none"> 血液透析、腹膜透析、腎移植を3本柱としたバランスの良い腎代替療法の提供 オンラインHDFなどの新たな治療方法の開始 	○
2. 生き活きと働ける職場環境	<ul style="list-style-type: none"> 医師の働き方改革の推進 家庭環境を考慮したワークライフバランス実践 	○
3. 地域ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 夜間透析を含む透析医療体制の維持 腹膜透析治療の再開 災害時における透析医療提供体制の確立 	○
4. 経営基盤の更なる強化	<ul style="list-style-type: none"> 維持透析患者数の維持～増加 令和6年度診療報酬改定に対する対応 	△



【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成

磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の目標達成に向けた取組み

令和6年度診療報酬改定
(新) 慢性腎臓病透析予防管理料 300点

上記予防管理料の取得に向けた準備を実施
10月から稼働開始



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の目標達成に向けた取組み

医師の働き方改革の推進

5日以上の年休取得率
2024年度 100%

腹膜透析治療の再開

1名導入し、当院で維持透析を継続



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

より質の高い透析医療を追求する



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 診療数値目標の達成状況

2024年度成果

緩和医療科 緩和ケアセンター

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
緩和医療科 新規入院患者数	32人/年	30以上	30人
緩和ケアチーム介入患者 死亡退院割合	18.8%	16%以下	23.6%
緩和医療科転帰のうち 在宅ケア導入件数	10.1%	15%以上	21.0%



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	痛み日記, オピオイド回診の継続でオピオイドの適正な使用を促す(がんばかりでなく非がんも)	○
2. 今後の医療を支える環境作り	緩和ケア関連研修会, がん教育の継続・推進	○
3. 地域連携の更なる推進	中東遠連携カンファレンス, 在支診・在支病連携カンファレンス, 県西部緩和ケアチーム合同カンファの主催・参加	○
4. 意思決定支援	院内ガイドライン・マニュアルの作成・改訂, 普及のための研修会	△
5. 臨床倫理問題への対応	臨床倫理コンサルテーションでの対応	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

- 意向を反映した療養支援
外来では入院しないで希望する在宅移行を実現
入院では早期の退院を支援する
- 院内外医療者のスキルアップ, 地域連携
様々なカンファレンス, ミーティングに積極的に参加
院外の研修会開催にも協力

2024年度の目標達成に向けた取組み

- **がん教育の実施と希望する学校数を増やす努力**
地域連携室との協働・営業
訪問した学校での営業
- **倫理コンサルテーションに素早く対応出来る体勢**
翌日までの初動
院内外に対応出来る体制を維持



来年度に向けた決意表明

質の高い緩和ケアの提供

早期の症状緩和

意思決定支援

世代交代を見据えた人材育成

チームの多職種ばかりでなく院内医療者

社会貢献

地域あつての当院



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	65.3	70	89.8
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	81.0	80以上	82.0
月平均紹介件数(人) ※簡易ダッシュボードより	53.4	60	69.0

2024年度成果

小児科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	救急外来コンサルト症例・救急搬送症例への24時間対応 入院が必要な症例の24時間対応	○
2. 生き活きと働ける職場環境	働き方改革への対応、必要な代償休息時間の確保、宿直明け業務の調整、産休や育児への対応	○
3. 地域ニーズへの対応	周産期医療を含めた地域中核病院としての小児医療提供体制の維持、公募による新生児蘇生コース開催	○
4. 経営基盤の更なる強化	外来・入院数の維持	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の目標達成に向けた取組み

働き方改革に対応した宿直体制を維持しながら、業務を効率化することで休むことができる環境を整備

近隣の開業医の先生方と顔の分かる関係を作り、紹介・逆紹介をしやすい

行政等との連携をとり、医療的ケアや虐待の分野での素早い取り組み・実行

近隣の病院・総合周産期センターと常に連携をとる

来年度に向けた決意表明

若手医師が休みやすい環境→重症症例や稀少症例が多いが、ちゃんと休める磐田小児科で働きたい

行政・周辺施設とこまめに連絡を取り合う→

スピード感のある対応

地域の子ども・子育て世代に貢献

次年度は「**連携**」



2024年度成果

外科・消化器外科 血管外科



2024年度 診療数値目標の達成状況

外科消化器外科

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人)	73.9	74.0	75.8
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	74.1	75.0	73.5
ロボット支援下胃切除手術件数	0	5	3



2024年度 診療数値目標の達成状況

血管外科

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人)	3.3	4.5	2.7
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	69.7	72.0	65.0
手術件数	116	140	70



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	がん患者に対する高度で低侵襲な治療の提供 ロボット支援下胃切除術の安全な導入、実施	△
2. 生き活きと働ける職場環境	年休の取りやすい職場環境(趣味、家族のイベントなど) 夜間就労時、翌日休養できる環境づくり	○
3. 地域ニーズへの対応	地域の高度急性期医療を担う 適切な癌診療の提供	○
4. 経営基盤の更なる強化	急性期充実体制加算の要件(全身麻酔手術2000件+緊急全身麻酔手術350件)の維持	○



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

2024年度の目標達成に向けた取組み

- ・近隣消化器内科医院を訪問し、ロボット支援下手術を含む低侵襲手術の広報活動
- ・当直明けや夜間労働後には、若手医師に声をかける(帰りやすい雰囲気)
- ・積極的に緊急全麻手術に取り組む



来年度に向けた決意表明

- ・ロボット支援下手術を含む高度で低侵襲な治療の実践
- ・予約が入りにくい単径ヘルニア手術を早期に施行できるようにする



2024年度成果

呼吸器外科



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
入院診療単価(円) ※簡易ダッシュボードより	141,120	152,000	156,194
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	80.0	81.0	84.6
手術件数	116	120	124
ロボット支援下手術件数	15	20	13 (+5件予定)



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	高度で低侵襲な胸部外科手術の提供 胸部外傷患者に対する適切な治療の提供	○
2. 生き生きと働ける職場環境	チーム医療の充実による負担分配	△
3. 地域ニーズへの対応	中東遠圏域の胸部疾患治療、胸部外傷診療への貢献	○
4. 経営基盤の更なる強化	近隣病院との診療連携の拡充	△



2024年度の目標達成に向けた取組み

- ロボット支援下手術の安全な適用拡大
- 中東遠圏域4病院をはじめとした近隣医療施設との連携強化
 - 特に胸部外傷患者の後方連携の確保
- 休日・時間外の完全当番制の徹底
- 積極的な休暇の取得促進



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



来年度に向けた決意表明

スタッフの得意分野を最大限に
活かしながら、
時代の潮流と周囲の状況に即して
変化を続けていきます



2024年度成果

乳腺外科



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
乳腺悪性腫瘍に対する根治術数	104	110	109
（乳房再建に関する手術数）	(18)	(20)	(21)
そのほかの手術	30	35	36
手術の総計	134	145	145
超音波及びステレオガイド下マンモトーム （吸引式組織生検）	25	30	23
延入院患者数	1242	1300	1232
延外来患者数	8442	8500	7041



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い手術の提供・ガイドラインに沿った薬物治療の提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	webなどで乳癌治療に関わる他職種スタッフと定期的カンファレンスを開催して情報共有	○
3. 地域ニーズへの対応	待ち時間の短縮のための開業医との連携・市民への情報提供	○
4. 経営基盤の更なる強化	形成外科と連携して早期から乳房再建の希望を確認して実施するシステムの構築	○

【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成



2024年度の目標達成に向けた取り組み

完全主治医制→複数担当医による当番・交代制に移行。
学会作成説明用動画の使用を開始。
乳腺診療に関わるスタッフとのLINEを利用した情報共有。
開業医との共同診療推進。
薬薬連携推進(CDK阻害剤)。
吸引式組織針生検による診断精度の向上。
MRIと超音波融合画像ガイド下生検による正確な診断。
乳癌学会総会発表3演題、中部乳癌学会発表1題。



来年度に向けた決意表明

地域格差の解消

重篤な薬害防止

経験と知識の次世代への伝承



2024年度成果

整形外科



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	92.8	100	102
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	69.3	73.0	73.5
外保連指数の高い手術(脊 椎・人工関節・関節鏡)件数	262	280	237 (2024年1月-12月)
年休取得日数	8.75	10.0	7



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	低侵襲で専門性の高い治療の実施体制の維持に向けた体制設備	×
2. 経営基盤の更なる強化	DPC期間を意識した入院管理や新入院患者の獲得 外保連指数や手術点数を意識した手術への取り組み	△
3. 生き生きと働ける職場環境	医師の働き方改革への取り組みとして時間外勤務の削減や適切な休息取得に向けた診療体制の構築	△

2024年度の目標達成に向けた取り組み

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	低侵襲で専門性の高い治療の実施体制の維持に向けた体制設備	×

- ・脊椎内視鏡手術、人工関節ナビゲーション・ロボット手術の導入に至らず
- ・関節鏡手術件数の伸び悩み(執刀できる医師が増えていない)

項目	目標	達成度
2. 経営基盤の更なる強化	DPC期間を意識した入院管理や新入院患者の獲得 外保連指数や手術点数を意識した手術への取り組み	△

- ・DPC期間、新入院患者数の獲得 → **いずれも達成**
- ・外保連指数の高い手術件数 → **10% 減少**
- ・外保連指数 平均値 12.09 → **12.56 増加**

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

項目	目標	達成度
3. 活き活きと働ける職場環境	医師の働き方改革への取組みとして時間外勤務の削減や適切な休息取得に向けた診療体制の構築	△

- ・複数主治医制の導入 → 専攻医を対象に導入
- ・勤務時間内のカンファ → 7:30開催を8:00開催に変更
- ・勉強会の実施 → 17:00以降実施を昼食時間帯で実施、に変更



来年度に向けた決意表明

整形外科スタッフの診療レベルの向上を目指しつつ、当院の特色となるような診療を行う事で近隣医療機関や地域住民に選ばれる病院となるような取り組みを目指します



2024年度成果 形成外科



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	診療のレベルアップ 若手医師の育成	○



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	15.2	17.0	15.8
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	70.6	75.0	68.9

項目	2023年	2024年 目標値	2024年 実績
手術件数(1-12月)	1310	1310	1428
全身麻酔件数(1-12月)	130	130	109



2024年度の目標達成に向けた取組み

形成外科4人のうち3人が入れ替わり専門医の
数も減少した体制でしたが、手術件数は9%増
えました。

症例をたくさん経験することで診療のレベルアップが
できました。

感染症の影響で病床利用制限があったため、
DPC期間Ⅱ以内退院率は達成できていません。



来年度に向けた決意表明

指導医が新しくなります。皮膚がん、手外科、
再建手術が得意な先生です。

若手はフットワーク軽く外傷や褥瘡、創傷に
素早く対応します。

形成外科を今後ともよろしく申し上げます。



2024年度成果

脳神経外科



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人)	25.3	25	28.5
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	73.6	70	71.1
手術件数	190	200	179



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い手術の提供 質の高い診療の提供	○
2. 地域ニーズへの対応	近隣医療機関や施設との連携強化	△
3. 職場環境待遇の改善	風通しの良い職場環境 コメディカルとの連携 就労環境・条件の改善	△

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取り組み

近隣医療機関と連携し、地域医療により対応できる体制作りを

緊急疾患への対応を継続しつつ、人員のワークライフバランスを考えた体制作りを

大学や他病院と連携し、より困難な症例も当院で



来年度に向けた決意表明

地域医療に貢献できる医療を

他病院と連携し、より困難な症例も当院で

緊急疾患への対応を再考

医療の持続可能な道を考える



2024年度成果

産婦人科 周産期母子医療センター



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	79.7	80.0	74.9
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	83.1	84.0	81.4
分娩件数	406	400	345 (414)
ハイリスク分娩管理加算数 (のべ)	424	430	595
鏡視下手術件数	159	167	132 (159)



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い手術の提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	スタッフ数の確保、有給休暇消化率の増加	△
3. 地域ニーズへの対応	周産期医療提供体制の維持	○
4. 経営基盤の更なる強化	分娩数の維持	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

1. 質の高い手術の提供
 - 鏡視下手術・ロボット支援下手術の増加
 - 安全を確保した上での手術時間の短縮
 - ロボット支援下仙骨腔固定術の施行(高難度新規医療技術等の提供)
 - vNOTES:経腔的内視鏡手術の施行
2. スタッフ数の確保
 - 大学非常勤医師の確保
 - 有給休暇消化率の増加



来年度に向けた決意表明

中東遠地域の中核病院として地域のニーズに応える手術を施行します。

中東遠地域唯一の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・新生児の受入を維持していきたいと思えます。



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	11.2	10.0	6.2
眼科手術件数	581	581	493

2024年度成果

眼科



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い眼科診療の提供する	○
2. 生き活きと働ける職場環境	医師の働き方改革に則った就労環境の促進 (タスクシェア、有給消費など)	○
3. 地域ニーズへの対応	開業医様の積極的な受け入れおよび、眼症状が落ち着いたら速やかに紹介元へ送る	○

2024年度の目標達成に向けた取り組み

積極的にできるだけ最短の日程で他施設からの紹介状や他科依頼を引き受ける

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



来年度に向けた決意表明

来年度からは二人体制へ変わります。
外来人数や手術件数の増加が見込まれます。



2024年度成果

耳鼻咽喉科



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	26.8	28.0	28.1
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	84.2	85.0	74.1
手術実績件数	377	420	318



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	業務効率化・省力化で生じた余剰時間で研鑽を行なう	○
2. 生き活きと働ける職場環境	業務効率化・省力化で生じた余剰時間で休息时间・インターバルを確保する	○
3. 地域ニーズへの対応	病診連携の強化	○
4. 経営基盤の更なる強化	外保連指数を意識した手術検討	○

2024年度の目標達成に向けた取組み

① ツールによる業務効率化

例: 手術予定の管理にExcelを使用

単純な紙の代替 から 機能的なデータベースへ

テーブル化	スライサー	グループ化
集計	絞り込み	個人情報非表示

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

②生成AIの有効活用

技術的・倫理的・社会的なリスクについて

学んだ上でユースケースを模索

文書作成	<ul style="list-style-type: none">・ 説明文書・ 多言語対応・ マニュアル作成
文書変換	<ul style="list-style-type: none">・ 分かりやすい表現に書き換え・ 文書の校閲・校正
リサーチ効率化	<ul style="list-style-type: none">・ 論文の要約(+日本語への翻訳)



来年度に向けた決意表明

安全で丁寧な診療を提供していきます
業務の効率化・省力化を更に進めます
クリニックで対処困難な症例の受け入れ
およびクリニックで対処可能になった症例
の逆紹介など病診連携を進めていきます



2024年度成果

泌尿器科



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	49.5	49	52.9
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	66.6	65	70.1
手術件数	386	390	410



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い医療の提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	「働き方改革」の実践、年休消化率の上昇	○
3. 地域ニーズへの対応	周辺医療機関との連携、コミュニケーション強化	○
4. 経営基盤の更なる強化	日本全体、当院診療域いずれも人口減少傾向が続く →診療単価増加(診療報酬算定、外保連指数など)を目指す	○

2024年度の目標達成に向けた取り組み

ロボット支援下前立腺癌手術件数の確保

目標： 1年間に20件以上



結果： 1年間(2024年1~12月)で22件

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



来年度に向けた決意表明

ロボット支援下手術、腹腔鏡手術件数が増加。
しかし全麻手術枠少ないので待機時間が
長くなっている。



麻酔科、手術室に相談して全麻手術枠を
増やして頂くよう交渉中。



2024年度 診療数値目標の達成状況

2024年度成果

皮膚科

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	12.1	12.5	11.9
月平均外来患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	1086.0	1100.0	1030.0
紹介件数	38.3	40.0	36.7



2024年度 重点目標の達成状況

2024年度の目標達成に向けた取組み

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	がん診療拠点を満足に支持しうる「薬疹対応」「スキンケア指導」「リンパ浮腫管理」の実施	○
2. 生き活きと働ける職場環境	スタッフ間の良好な人間関係の醸成	○
3. 地域ニーズへの対応	難治症例の積極的な受け入れおよび、新規の薬剤・治療法の導入と実践	○

- ・秋期より、当院と島田～磐田地区の皮膚科開業医との症例報告会を新設し、月1回開催している。
→紹介患者の受診結果を提示することで、より当院へ紹介しやすくなると期待される。
- ・専門医不在状況でも、生物学的製剤等の使用継続が可能となるよう、学会へ申請し、一年間の猶予期間をいただいた。

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



来年度に向けた決意表明

人員の変更はありますが、体制は大きく変わりません。

地域中核病院として引き続き、積極的に難治皮膚症例を請け負います。



2024年度成果

放射線診断科 画像診断センター



2024年度の目標

画像診断管理加算3の維持

画像診断を専ら担当する常勤の医師（放射線診断専門医）**3名以上**が翌診療日までにCT/MR/核医学検査の**8割以上**を読影して主治医に文書で報告した場合**235点**（加算1は70点、加算2は175点、加算4は340点）



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
読影率	87.4%	8割以上	85.8%
読影件数	33,255	33,000以上	28,931 ($\times 12/10 = 34717$)



2024年度(4月-1月)の成果

	検査件数	読影件数	読影率
CT	25793	21747	84.3%
MR	7219	6578	91.1%
核医学	700	606	86.6%
計	33712	28931	85.8%

4月-12月で**約4400万円の収益**
加算1より約3300万円以上の増収



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	安全、迅速な画像検査、読影、血管造影検査治療の実施	○
2. 生き生きと働ける職場環境	常勤医、非常勤医の確保	○
3. 地域ニーズへの対応	診療所依頼の画像検査読影の維持	○
4. 経営基盤の更なる強化	(新)画像診断管理加算3の取得	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	安全、迅速な画像検査、読影、血管造影検査治療の実施	継続
2. 生き生きと働ける職場環境	常勤医、非常勤医の確保	継続
3. 地域ニーズへの対応	診療所依頼の画像検査読影の維持	継続
4. 経営基盤の更なる強化	(新)画像診断管理加算3の取得	継続



来年度に向けた決意表明

画像診断管理加算3の継続

常勤医の高齢化に対し、
新たな常勤医の獲得、
非常勤医の確保。



2024年度成果

放射線治療科 放射線治療センター



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	「その人にとって最も良い治療」 ・高精度放射線治療の積極的活用 ・フォローアップや症例検討 小線源治療や内用療法など特色ある治療の推進	○
2. 生き活きと働ける職場環境	AI、ICT等の技術の活用により業務の効率化をはかる ・治療説明用音声付き動画の作成と活用 ・スタッフ教育用動画の活用 専門性を活かせる環境づくり	△
3. 地域ニーズへの対応	「緩和的放射線治療・地域連携モデル」の活用推進	△

【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
放射線治療実人数(人)	373	400	330
定位放射線治療件数(件)	52	70	38
外照射におけるIMRT割合(%)	53.9	50%以上	57.2



2024年度の目標達成に向けた取組み

高精度放射線治療の積極的活用

緩和照射においても、QOLを低下させる急性期有害事象を減らす目的でIMRTを積極的に活用

特色のある治療の推進

神経内分泌腫瘍に対する内用療法(ルタテラ)
今年度3名 計12回の治療を施行

需要に応じてスムーズに治療を行えるように、核医学部門や放射線治療技術科の協力を得て、備品の整備、運用の工夫を行った



2024年度の目標達成に向けた取組み

フォローアップ/症例検討

放射線治療後の経過観察を行った
貴重なフィードバックを得たり、再発時の治療選択肢を示す
ことができた

AI/ICT技術の活用による業務の効率化

音声付き説明動画の整備
スタッフ教育用動画の活用



2024年度の目標達成に向けた取組み

「緩和的放射線治療・地域連携モデル」の活用

→ あまり活用されていない現状・・

在宅療養中の担癌患者で需要はある？

→ 在宅診療を行っている医師と意見交換し、
地域連携室・放射線治療技術科の協力のもと

「緩和的放射線治療・在宅療養版」を整備



来年度に向けた決意表明

ひとりひとりの患者さんに合った放射線治療
をていねいに行います

放射線治療センターが一丸となって目標達成
を目指します



2024年度 診療数値目標の達成状況

2024年度成果

麻酔科 手術センター

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
手術件数(件)	5,107	5,200	4,408
全身麻酔件数(件)	2,365	2,300	2,040
緊急全身麻酔件数(件)	364	370	331



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	高度で安全・良質な周術期医療の提供	○
	ダビンチ手術症例増加への対応	○
	緊急時の対応の強化	○
	勉強会の充実・シミュレーションの開催	△
2. 生き生きと働ける職場環境	質の高い医療の実現	○
	新人Ns・CEの継続的配属と育成の強化	○
	日中のオペ室稼働率の上昇	○
	針刺し件数の減少(感染症検査の施行割合の上昇)	△
	休憩室の改善(改装予定)	△

2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
3. 地域ニーズへの対応	緊急手術への迅速な対応	○
	手術件数増加への対応	○
	外來手術件数・短期滞在手術件数増加への対応	○
	臓器提供への対応	×
4. 経営基盤の更なる強化	急性期充実体制加算の取得の継続	○
	他部門との連携・共働の強化	△
	効率的な手術室運営 →Ns・CE・ヘルパー・クラークのタスクの明確化 →SPD・サプライセンター等と連携しタスクシフトを推進	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

新人Ns・CEの育成の強化

ダビンチ手術件数増加への対応

3F手術室と、分娩室を有効に
活用できる体制の構築



来年度に向けた決意表明

質の高い医療の実現

生き生きと働ける職場環境

手術件数のさらなる増加への対応



2024年度 診療数値目標の達成状況

2024年度成果

病理診断科 病理診断センター

項目	2020年1月-2023年9月	2024年度目標値	2024年度4月-1月実績
病理診断結果確認率	92.3%	95%	96.5%

2か月に一度の注意喚起



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	<ul style="list-style-type: none"> ●病理医の診断能力に関して、日本病理精度保証機構により高い評価(認定)を受ける ●標本管理能力について、日本病理精度保証機構により認定を受ける ●職員(特に専攻医)の確保 ●他科・研修医のサポート体制強化: 症例検討会、論文、学会発表への参画 	○
2. 生き活きと働ける職場環境	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化: 残業時間の削減、有給休暇の取得推進、能力に応じた仕事の割り振り(働き方改革) 	△

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

1. 病理医の診断能力と標本管理能力に関して、日本病理精度保証機構により高い評価(認定)を受ける→3月中旬に評価が通達される予定(おそらく○)
2. 職員の確保→専攻医(有期)1名確保(○)
3. 他科・研修医のサポート体制強化→初期研修医が病院誌で発表。他科の論文発表(査読有り)に共著者として加わった(○)。
4. 業務効率化→早く帰宅できるときには時間年休を用いることにより「バランスアップチャレンジ(当院の2月のスローガン)」を追求し、目標を一部達成した(△)。



来年度に向けた決意表明

専攻医(有期)の能力向上を重視する



2024年度成果

リハビリテーション科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	全身管理、統合的な評価を包括的に解釈した上でゴール設定を行い、リハビリテーション治療を提供する。	△
2. 生き活きと働ける職場環境	リハビリテーション現場の活力ある意見を吸い出して、実現させていくこと。	△
3. 地域ニーズへの対応	訪問看護、訪問リハ、他院リハスタッフ、役所福祉課と協働して、医療難民、リハ難民を救い出すシステムの構築。	△
4. 経営基盤の更なる強化	単位数の増加。加算損失機会の減少。	×



【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成

磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
嚥下造影検査件数	164	180	112
嚥下内視鏡検査数	88	100	47
目標単位数 (PT+OT)	16.7	17.0	15.8
学会発表演題数(医師/療法士)	0/6	3/7	5/16
総合実施計画書不備割合(%)	11.8%	10%	9.9%
早期リハビリテーション加算	94.3%	96%	98.8%



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の目標達成に向けた取組み

1. 訪問、通所リハ相談会発足
2. 災害リハビリテーション派遣、他院の派遣サポート
3. 嚥下カンファレンス開始
4. OT朝会議開始
5. 4西NSTカンファレンス開始
6. リハ・栄養・口腔連携体制加算デモ施行
7. 夜間救急ER勤務開始
8. 臨床倫理委員会参加(臨床倫理認定士取得)
9. 6演題学会発表、療法士の学会発表のサポート
10. リハビリテーション単位数調整の開始
11. 周術期リハビリテーションのサポート
12. 院外講演3回
13. 介護保険審査会への参加



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

院内リハビリテーションの標準化

- ・全身管理、統合的な評価を包括的に解釈した上でゴール設定を行い、リハビリテーション治療を提供する。
- ・Nsステーション周囲など、可能な範囲で、患者のリハビリテーション管理を主治医、病棟と共同で行う。
- ・重複疾患、難渋症例など、全身管理に抜けのある状態でのリハビリテーション依頼に対して、療法士から当医に報告して対応するシステムを作る。
- ・リハビリテーションを重く入る必要性のある患者の単位数が減らないように、また総単位数が減少しないよう、必要性の乏しいリハビリテーション処方を調整する。
- ・適切なリハビリテーション処方が行われるように、医師教育、サポートを工夫して行う。
- ・適切なリハビリテーション施行のために、重要な患者背景、症状の変化を看護師から得やすいよう環境、関係性を構築する。
- ・看護師、医師がリハビリテーションに関して困れば、直に相談してもらえる関係性を構築する。



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
救急搬送件数(月平均) 《年間総数》	480.1 《5638》	500 《6000》	520 《推定6200》
救急車入院率	42.6	45	44.3
応需率 (定義改訂後)	92.5	95	93.8 (95.3)

2024年度成果

救急科 救命救急センター



2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	研修医に週1以上の勉強会を開催し、一定の質を担保する	○
2. 生き活きと働ける職場環境	院内救命士など人手を充足させ、一人一人の負担を軽減できるように配慮する	△
3. 地域ニーズへの対応	救急車搬送の応需率を下げ、地域医療に貢献する	○
4. 経営基盤の更なる強化	救急車搬送の応需率を下げ、病院に貢献する	○

2024年度の目標達成に向けた取組み

救急車不応需の定義の変更

- ①病棟ベット満床
- ②処置困難(専門医不在、手術室満床、機器調整中)
- ③重症患者対応中
- ④多数傷病者対応中
- ⑤ER内満床
- ⑥かかりつけ医優先
- ⑦ウォークイン案内
- ⑧死亡不搬送
- ⑨その他

救急車の適正利用の観点から不応需とは考えにくいため除外

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



2024年度の目標達成に向けた取組み

The screenshot displays the NEXT StageER interface, which is used for managing the Emergency Room (ER). It shows a list of patients with their IDs, names, and various status indicators. The interface is organized into columns and rows, with a search bar at the top. The data includes patient names like '水野 順雄' and '水野 順雄', and various medical codes and status indicators.

NEXT StageERを活用し、
ER内の患者の把握やベットコントロールをしやすくなった



来年度に向けた決意表明

救急医1人ですが、病院全体で支えていただき当院の救急体制が成り立っています。

そのため、少しでも病院全体、また磐田市内、中東遠地域の役に立てるように努力していきたいと考えています。



2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
紹介患者数	1816	1850	1481
平均入院日数	4.0	3.8	3.3

2024年度成果

歯科口腔外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	DX化による質の高い手術・治療の提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	業務の効率化・省力化によるストレスの軽減	×
3. 地域ニーズへの対応	地域診療所とのコミュニケーションの強化	△
4. 経営基盤の更なる強化	令和6年度診療報酬改定への対応	○

2024年度の目標達成に向けた取組み

- ・従来2泊3日だった入院抜歯パスを1泊2日に変更した。
- ・2件目以降の手術は当日入院とするよう努めた。



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

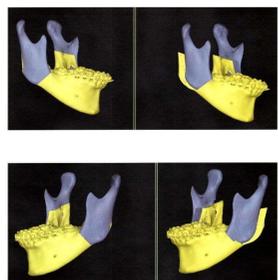
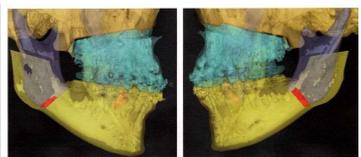
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の目標達成に向けた取組み

- ・歯科用の光学スキャン装置、手術シミュレーションソフトの活用。



- ・令和6年度診療報酬改定に伴い必要となった機器の導入。



来年度に向けた決意表明

患者さんの満足度を高め、より安全、確実な口腔外科医療を提供できるよう引き続き努めて参ります。

